2/2

サーブ、特別仕様車「タラテガ」を発表

米国アラバマ州タラテガサーキットにて、8 日間にわたる耐久テスト走行が行なわれ「900 2.0T」が国際記録を樹立した。それを記念して「900 SE 2.0T」をベースとする「タラテガ」を 200 台限定で発売。ボディ同色のフォグランプ内蔵フロントスポイラー／リアスポイラーやレザーインテリア、ウォールナットパネルなどが装備された。価格はベースモデルの 20 万円高となる 415 万円。

2/2

ディスカバリー XS リミテッド限定発売

世界一ハードなラリーレイド「キャメルトロフィー」で活躍していたランドローバー。初代ディスカバリーは 1989 年に発表され、このXS リミテッドはモデル末期の特別仕様車となった。4 段 AT ／右ハンドルのみの設定で、ボディ同色のバンパーやルーフラックなどを標準装備し、価格は 349 万円（200 台限定）。その後「シリーズ I」「50 周年記念車」「ラング」等の限定車を次々に発売し、翌年 5 月にフルモデルチェンジした。

2/16

BMW Z3 ロードスター、特別仕様車

007 シリーズのボンドカーとしてデビューした Z3 ロードスター。96 年 11 月に登場し、2 年後の 10 月には M クーペを追加した。ライバル車には、メルセデス SLK ／アウディ TT などの小型スポーツカーが挙げられる。今回の特別仕様車は専用ボディカラー、ダカールイエローを採用。レザーシートにはレモンイエローのパイピングも施され、250 台の限定発売となった。10 月にはエストリル・ブルー仕様も登場した。

2/23

フィアット ブラビッシモ登場

フィアット・ティーポの後継車で、日本未導入だったスティロの先代モデルにあたる。本国名は 3 ドアを “ブラーヴォ”、5 ドアモデルを “ブラーヴァ” という。日本導入は 3 ドアのみだが、同じ綴りの軽自動車がすでに存在していたため、やむなく車名をブラーヴォからブラビッシモへ変更した。ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー受賞車だが、日本市場には受け容れられず、翌年には輸入中止となってしまった。